Hajime Oniki
9/25/2017

「放送のネット同時配信と NHK 受信料に関する見解」

鬼木　甫

概要：　放送の「ネット同時配信」の実現が近づき、その供給体制とりわけ NHK 受信料の取り扱いが問題になっている。背景の 1 つは、インターネットと同広告市場の成長にある。本稿は、この問題について筆者が SNS（Facebook）上に随時表明した見解を再録するものである。

キーワード：　放送、インターネット、広告、放送同時並行配信、NHK、公共放送、受信料、ネット受信料、ネット配信アプリケーション

(1) 2017 年 4 月 7 日：　日経新聞「広告費、ネットが初の首位　17 年世界市場予測」（2017 年 4 月 6 日）について

日本のインターネット広告費はまだテレビの 40%程度だが、早晩テレビを追い抜くことは確かだ。テレビ番組のインターネット同時配信は、民放にとっては生き残りのための当然の戦略で、その限りでは「順調に」進むだろう。問題は NHK。とりわけいくつかの矛盾を抱えたまま存続してきた受信料制度の、公平かつ合理的（つまり存続可能）な改革が望まれる。

oniki@alum.mit.edu
www7b.biglobe.ne.jp/~ieir/